

9年間の系統性を見据えた積極的な生徒指導

ねがい

〈目的〉

「挨拶・清掃・時間厳守」は生活の基本であり、9年間の指導の継続は大変重要なものです。そして、指導法や課題等を小中で紹介し合い、共通理解の下で実践することは価値あることだと考えます。また、あいさつ運動などの取り組みを通して、自己有用感や地域の一員である意識、社会性を育むとともに、その過程で小中教員の連携が深められることもねらっています。

〈内容〉

つながり

● あいさつ運動

1. 登校時に生徒（児童）会が呼びかけて集まった生徒（児童）を中心にあいさつ運動を展開
2. ボランティア活動に参加した者を認める手立て
(ボランティアカードの配布、集会での報告)
3. 「はい」と返事ができる生徒の育成
(授業や表彰式、卒業式でのチャンス指導)



【中学校区内で取り組むあいさつ運動】

● 小、中学校の9年間の系統性を見据えた指導

1. 服装、持ち物の指導
2. 授業内容、ノート指導、発表の仕方の共通理解
3. 交通マナーや規範意識を育てていく指導
4. 無言清掃、着ベルの指導

● 授業参観、学校訪問、学校行事での交流

1. 教員間の連携
白峰校区小中連絡協議会、文化センター研修会
白峰校区PTA連絡協議会での討議会
市PTAバレー、ソフトボール大会の運営
白峰校区PTAバレーボール大会の企画・運営
白峰地区青少年健全育成協議会(7/27)
2. 学校間の交流
担当教諭の小学校訪問授業、小学生の体験入学
人権発表会、同和問題に関する授業等の参観
不登校対策委員会、校内就学指導委員会
3. 小学校区内クリーン作戦への中学生参加(6/3)
4. 中学生による小学校運動会での競技道具運搬の手伝い、市民体育祭への参加



【西庄小主催のクリーン作戦】

〈成果〉

小・中の教職員が指導内容や指導方法を確認し合い、9年間を見通した人間形成を図っていくことは大切です。そういう意味でも、白峰校区は、連携する機会や校区内行事が豊富にあり、教師も子どもも情報交換等や交流がよくできているので、望ましいコミュニティなるものが形成されていると思います。最近、小・中とも外部の人にあいさつが良くできていると言われるようになりました。

高まり